



今月は、区長職で永年勤続表彰を受けた、波多野サワさんをご紹介します。

波多野サワさん
74歳、宮地



117区長のうち、女性区長は、ただ一人。

平成20年度阿蘇市区長会総会で、永年勤続表彰が5人に贈られました。その中に区長会で、唯一の女性区長であった波多野さんの姿がありました。

波多野サワさん（74歳）は、宮地の西2区（84世帯）の区長さんです。今年で区長は9年目。自宅が裁判所前で、商店をしていることもあって、地域では顔なじみの方です。

区長の仕事。とにかくやってきました。

波多野さんが区長になったきっかけは、区長をしていた



総会での表彰式の様子

ご主人が突然お亡くなりになり、任期残りわずかだったため、地区の方に「サワさん、協力するからこのまま続けてもらえないだろうか」との依頼からでした。西2区は公民館がなく、8つの組長と相談しながら運営していく仕組みです。サワさんは、高齢であること、車の免許がないことなど不安もありましたが、より地域の人たちと接する機会が増える地区を歩いて回って運動になるなど前向きに考え、第二の人生の第一歩として区長を引き受けました。

どんな役も真面目にこつこつやればできます。

「すべきことを真面目にやっ
ていけば、信頼も生まれ、周
りの皆さんが協力してくださ
るようになります。誰もが、
社会の中でいろんな役職を任
せられる場面に出くわすと思
います。特に、女の人は、
役を遠慮しがちです。大いに
いろんな役に挑戦して、女の
人たちがもつと社会に出て貢
献してほしいですね。そうす
れば昔のような活気ある町が
つくれると思います」と波多
野さん。宮地に嫁いで50年、
神社の祭りや官公庁の多い通
りならでは人の動きなど町
の移り変わりを懐かしみ、こ
の町を大切に思う気持ちが伝
わります。

女性ならではの視点と気遣いで
「区長をやってみると、職務
において男性でなければでき
ないという面は無く、むしろ
女性の方が雑用にも慣れてい
るので仕事も段取りよくこな
しやすいのでは」と波多野さん。
市に要望書を提出し、道路な
どの改修等にも意欲的に取り
組まれてきました。何より、

女性ならではの優しさに人柄
の良さもプラスされ、「ちょ
つと波多野さん」と誰から
も声をかけられ聞き上手なと
ころが波多野さんのいいところ。
「私がこんな風に長年やって
これたのは、地区の方々の協
力があつたからこそ。皆さん
の支えで、今年も区長を頑張
ることになりました」と、波
多野さん。
今日も、いつもと同じ道を
回覧板をかかえ、往復する元
気な姿が印象的です。



波多野さんの趣味は、パッチワ
ークとグラウンドゴルフ。腕前はこ
覧のとおりで、作品は一の宮郵便
局にも飾られています。